

2012年度後期授業アンケート集計結果（全体的特徴）

●アンケートを実施した授業 165 / 182

●アンケート実施担当教員 専任教員44名 非常勤講師41名

【属性】（設問1～設問2）

アンケートに答えた学生の内訳は、次表の通り。

学部学科別人数・構成比					学年別人数・構成比		
学部	学科	人数	構成比	備考	学年	人数	構成比
経済学部	経済学科	1,156名	25.9%		1年	1,552名	34.8%
	コミュニティ福祉政策学科	19名	0.4%	6年次生以上	2年	1,557名	34.9%
	臨床福祉コミュニティ学科	146名	3.3%	1～5年次生	3年	969名	21.7%
	公共政策学科	196名	4.4%	1年次生	4年	326名	7.3%
経営学部	スポーツ経営学科	1,923名	43.1%		5年以上	26名	0.6%
	情報メディア学科	993名	22.2%		科目等履修	36名	0.8%
科目履修生・交換留学生・聴講生		32名	0.7%		生など		

延べ回答者数 / 延べ受講者数 = 回答率

4,465 / 8,677 = 51.5% (昨年度: 62.6%)

設問3. 【科目の選択理由】

○臨床福祉コミュニティ学科福祉では、「資格取得に必要」、「必修科目」が8割を占めているが、それ以外の学科では、「シラバスを見て興味がわいた」という積極的受講理由は21.7%にとどまり、「必修科目だから」(19.7%)、「資格取得に必要なだから」(12.0%)のほかは、「時間割を埋めるため」(29.4%)、「先輩や友人からすすめられた」(15.7%)など消極的理由が45%ほどとなっている。

その中で、情報メディア学科は、「シラバスを見て興味」の割合が34.1%と比較的高くなっていることが特徴といえる。

設問4. 【シラバスの活用】

○授業等でWebシラバスを見る機会が多い情報メディア学科以外は、「シラバスを見ていない」の回答が49.6%であった。前回より5ポイント減ったものの、約半数の学生がシラバスの内容を見ないで授業選択している現状は大いに問題視する必要がある。

シラバスを見た約半数の学生のうち、多く(39.7%)は「興味を持った」と回答しているが、約1割の学生は「興味を持てなかった」、「理解できなかった」と答えており、次年度シラバスを改良を考えるうえでもシラバスの内容等について詳しく問うべきだろう。

設問5. 【板書】

○板書については、「分かりやすい」と回答した割合が 39.5%で、前回に比べ7ポイントほど低下した。「分かりにくい」と答えた 10.9%の者は、板書について「字が小さい」、「字が汚い」、「書く量が多い」、「消すのが早い」との指摘を具体的に記述している。

設問 6. 【話し方】

○教員の話し方については、「分かりやすい」が 56.9%でほぼ前回どおりの割合であり、「わかりにくい」と答えた 9.3%の具体的な理由としては、「マイクの音量が適切でない（大きすぎる、小さすぎる）」、「聞きとりにくい」、「しゃべるのが早い」といった記述があった。

設問 7. 【授業の復習】

○「授業の復習」については、「復習を全くしたことがない」が 41.8%であり、授業の復習をして理解を深める習慣が備わっていない者が多いといえる。学科別には、スポーツ経営学科は復習をしていない割合が 52.8%であったのに対し、情報メディア学科では 23.1%にとどまり、学科による大きな差異がみられた。

一方で、「毎回復習する」(10.8%)と「ほとんど毎回復習する」(10.5%)と回答した学生は合わせて 21.3%で前回より 5.4ポイント増える結果となった。

中教審の「学士課程教育の構築に向けて」(答申)において、単位制度の実質化が求められているにもかかわらず、自主的な学習が行われていない現状から、課題を出す等の自習時間を増やす工夫が必要である。

設問 8. 【授業の工夫】

○理解度を深めるため、「レジュメの配布」が 49.8%、「パワーポイント等電子化された教材の利用」(20.7%)、「ビデオ・DVDの利用」(14.9%)などが取り入れられており、自由記述欄にも、こうした授業での工夫により、「理解が深まった」、「わかりやすい」といった回答が多く寄せられた。

一部科目で実施された「ゲスト講師による授業」に対しても、概ね好評であったといえる。

設問 9. 【授業環境】

○教室内の授業環境については、全体の約3分の2(65.5%)が「常に静穏」であると回答しているが、学科別にみると公共政策学科だけが 56.6%と低い割合となっている。「私語や携帯電話の使用が常にある」との回答が 3.8%であったが、記述部分には、「集中できないので注意して欲しい」、「遅刻や途中退席する学生が多いので、出席カードや失格など厳格にして欲しい」など教員の対応を求める声が多くあった。

最後の設問「良かったと思われる点」でも「静かな授業」を評価する回答が非常に多くあることから、真面目に授業に取り組みたいと思う学生のためにも静穏な環境を整える必要がある。

設問 10. 【授業の進め方】

○複数回答可で今回初めての設問であるため前回との比較などできないが、学生が理解できているかを確認する工夫として、「学生との問答がある」(25.2%)、「前回の振り返り」(25.0%)、「小テストの実施」(18.4%)、「質問に対する適切な回答」(11.5%)など実施さ

れている実態を確認できた。逆に「ほとんど一方的だった」と答えた割合は 18.6%あり、特にスポーツ経営学科で 24.7%と高くなっている。

設問 1 1. 【授業の難易度】

○授業の難易度（設問 16）は、「理解できる」（45.1%）、「十分に理解できる」（26.4%）をあわせた 71.5%が授業を理解できているが、「やや難解」（23.7%）、「難解すぎて理解できない」（4.8%）など教室内の約 3 割の者が理解できずに授業を受けているといえるため、担当者は、授業の進行にあたって学生の理解度を確認する何らかの工夫が必要であろう。学科別には、「理解できない」と回答した学生の割合が、公共政策学科で 8.7%と高くなっているが、情報メディア学科では 2.8%、臨床福祉コミュニティ学科では 2.1%と低く対照的な結果となっている。

また、自由記述部分で「授業が簡単すぎる」と訴える意見も一部にあった。

設問 1 2. 【授業への意欲】

○授業に対する意欲としては、「非常に意欲的」（26.4%）、「やや意欲的」（38.9%）で概ね 3 人に 2 人は意欲的に臨んでいることがわかるが、自ら「意欲的でない」と正直に答える学生も 6.8%おり、設問 3 にある授業選択理由との関連などさらに分析できるような設問を次回考える必要がある。

設問 1 3. 【授業満足度】

○授業の満足度は、「満足も不満もない」が 31.5%で、「まあまあ満足」（33.0%）、「非常に満足」（28.4%）をあわせた「概ね満足」者が約 6 割、「やや不満」（4.1%）、「非常に不満」（2.5%）を合わせた「不満」者が 6.6%の結果となった。「不満」者の割合を学科別にみると、臨床福祉コミュニティ学科で 2.8%、情報メディア学科で 4.1%と低い反面、スポーツ経営学科で 8.8%、公共政策学科で 8.3%と高い割合となっている。

設問 1 4. 【良かった点、改善してほしい点（抜粋）】

<良かった点>

- ・最近のニュースを取り入れながら、授業を進めていくので、今の社会にも興味がわいていくのでとても良かった
- ・途中休憩のおかげで頭の整理ができて助かる。
- ・他の講義と比べ学生が集中して、授業の取り組めていて、授業環境はとても良かったです。
- ・学生への質問を投げかけていくのが良かった。
- ・プリントの穴埋め方式は良いと思う。
- ・パワーポイントを使って、またそれを冊子として学生たちに渡し、とても分かりやすいものだった。
- ・外部講師を招いての講義があり、さまざまな話を聞くことができた。
- ・DVDなどの機材を使って、説明してもらえるので分かりやすい。
- ・質問を書くと次の講義のときに答えてくれる。
- ・字がきれいでわかりやすいです。

- ・先生が熱心でとても良い授業だと思います
- ・先生の声ははきはきしていて、聞きやすかった
- ・一人ひとりに話す機会を与えること。
- ・生徒との問答が度々あったこと、出席表にミニテストがついていたのが良かったです。
- ・必ず最初の10分、15分は前回の講義の復習をしてくれる
- ・授業には関係ないのですが、この学校の先生に挨拶しても返してくれない人がいるのですが、先生は笑顔で挨拶を返してくれて、とても気持ちがいい。
- ・シラバスどおりの授業
- ・質問にしっかり丁寧に答えてくれたので、しっかり理解できた。
- ・難しいところは、時間をかけて教えてくれる。
- ・予習がとても大変だと感じたが、自分のためになった。
- ・この講義では、レポート課題が出される。提出したレポートは来週になると、点数とコメントがついて返ってくる。これがとても良い。普通なら出したら、出しっぱなしになって返ってこないのに、レポートの書きがいがある。
- ・私語でうるさくなると、注意してくれるので助かる。

<改善してほしい点>

- ・つまらない。話の内容が理解できない。
- ・配点をしっかり明確にして欲しい
- ・一方的に話し続けているため、内容の理解が難しい。
- ・黒板に字を書きすぎて、何が大事かがわからない。
- ・先生の遅刻が多い。私語が多い。授業を受けに来ていない学生が多すぎる。科目に関係ない学生が多数いる。(代弁のようなこと)
- ・声が大きくびっくりします。真面目にうけているので怒られているような感じがします。
- ・生徒をバカにするような言い方が何度もあった
- ・一方的な授業で、おもしろくない。黒板に書く量がとても多く、みんな書くのに精一杯だと思ふ。
- ・板書が汚い
- ・講師の声に覇気が無く、説明も一方的で授業が淡々と進んでいたため、理解しにくかった。
- ・教科書を買うためにお金を集められ、配付が11月ではあまり役に立たない
- ・毎回授業の始めに小テストをするのは良いことだと思いますが、小テスト終了後に答えと一緒に説明などを入れてもらえると、さらに良くなると思う。

以 上